

User Profile



中讃ケーブルビジョン株式会社
(略称・中讃テレビ)

所在地 (本社) : 香川県丸亀市天満町1丁目12番18号

URL : <https://www.cvc.co.jp/>

1989年の開局以来、エリア拡大を経て、現在では中讃エリアの2市3町(丸亀市、善通寺市、多度津町、まんのう町、琴平町)をカバーし、「放送・通信を通じて地域社会の発展に寄与する」をポリシーに、地域密着サービスを提供しています。メディアに対するニーズが大きく変化している中、従来の「放送事業」と「ネット通信事業」に加え、全国のケーブルテレビ局と連携しての動画配信の拡充や、地域のデジタル化推進に寄与するローカル5Gなど様々な取組みを考えています。また、エリア主要河川への監視カメラの設置などを通じ、防災への取組にも寄与してまいります。

中讃ケーブルビジョン株式会社 様



地域のイベント生中継にZao-Xを採用 工事や大掛かりな設備無しで、高画質かつ安定した中継を実現

課題

導入効果

1 サービスエリアの拡大とともに、地域イベントの生中継を増やしたいというニーズが高まっていた

Zao-X導入で地域イベント中継が増加、番組の魅力が向上

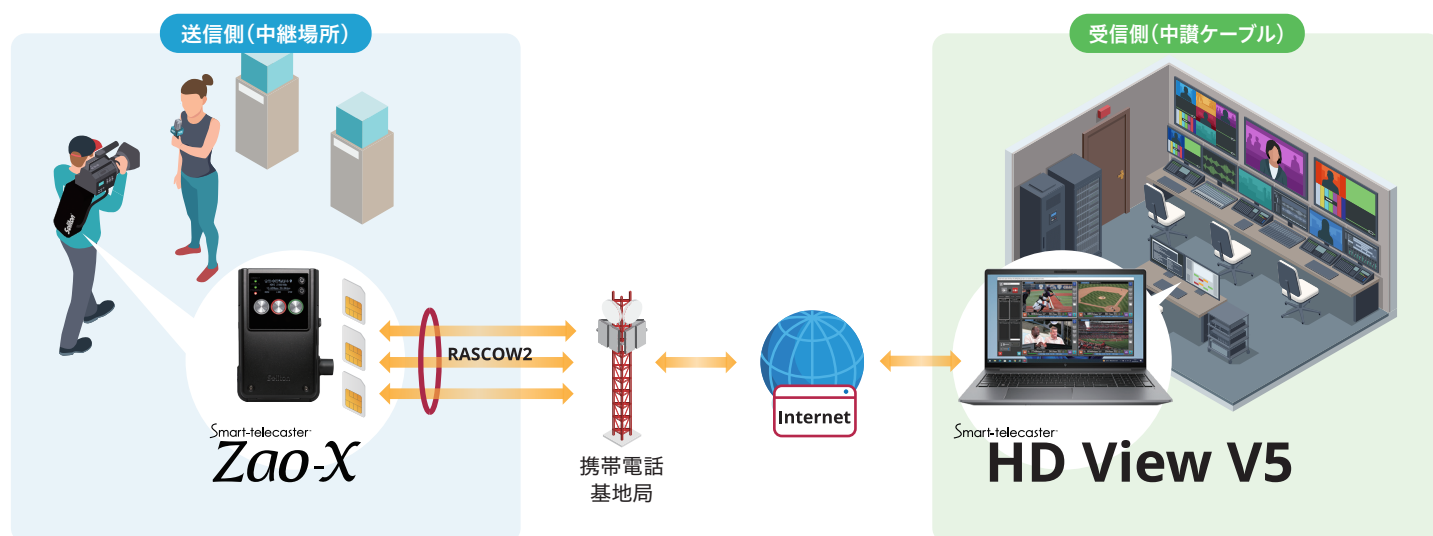
2 従来の中継は幹線工事が必要で、都度費用がかかるほか、撮影場所が限定されていた

導入により、幹線工事が不要に。どこからでも中継が可能となった

3 高画質・高性能はもちろんのこと、軽量で扱いやすいシステムが必要

高画質で通信も安定。背負うのに負担が少なく、女性カメラマンにも好評

中讃ケーブルビジョン株式会社 様 イメージ図



中讃ケーブルビジョン株式会社 様

**生中継に向けたソリューションとして
Zao-Sを採用。更新を機に
後継機を探していた**

中讃テレビでは、毎週金曜日の夕方5時から30分間、生放送番組『ライブCVC』を放映。中讃エリアのニュース、人気のお店やスポット、イベント情報など、生中継を交えながらタイムリーな話題を視聴者に提供している。

同社は2021年からソリトンシステムズ(以下、ソリトン)のZao-Sを、2025年からはZao-Xを活用し、生中継を行ってきた。Zaoシリーズ導入の経緯を、制作部 高田氏は次のように語る。



中讃ケーブルビジョン
制作部
高田 浩昌 氏

「ケーブルテレビでは中継場所の幹線工事が必要で、中継できる場所も限られていました。そのため、設備常設の球場で開催される高校野球以外では『丸亀お城まつり』と、もうひとつ程度のイベント中継にとどまっていた。しかしながら、エリア拡大を機に、他のエリアからもお祭りやイベントを生中継していく方針になりました。『簡単に中継できるシステム』を探し、Zao-Sの導入に至りました」

Zao-Sは大規模な設備が不要で、どこからでも簡単に中継できることから、中継回数が増え、番組も充実していった。その後4年が経ち、機器更新のタイミングを控え、後継機の選定にあたることになった。

**高性能かつ軽いことに加え、
サポート体制の手厚さがZao-X
導入の決め手に**

Zao-X選定に至るまでの経緯を、高田氏は次のように話す。

「複数の主要メーカー製品を展示会で実際に見て、聞いて、代理店の朋栄さんにも相談しつつ、選定に1年ほどかけました。通信性能、コスト、品質の安定性。そして女性スタッフでも扱いやすい軽さを重視しました。毎週の中継で使用するものですから。最終的にはこれらを満たすZao-Xを選んだのですが、Zao-S利用時にソリトンのサポートが手厚かったことも選定の大きな理由です。実際に使用してみて、綺麗な画質に驚きました。また、女性カメラマンからは、背負っていても負担を感じないと聞いています」



撮影時の機材はコンパクト。
Zao-X専用バッグを背負い、
カメラで撮影



普通寺市の「灸まん美術館」
から中継の様子(1)



普通寺市の「灸まん美術館」
から中継の様子(2)



受信機HD View V5



放送中の副調整室

**中継先の工事費が削減できたほか、
バックアップ用に携帯することも**

Zaoシリーズ導入による効果や、Zao-Xの優位性を高田氏はこう語る。

「導入前は、中継のたびに工事費用がかかり、製作費が膨大になってしまうという課題がありました。導入により、工事が不要となったため、中継を増やすことへのハードルが低くなりました。また、光回線を引いている現場にも、念のためにバックアップ用としてZao-Xを持参しているので、安心して中継に臨めます。Zao-Xは、高画質であることに加え、バッテリーが専用バッテリーではなく、モバイルバッテリーであることは嬉しい点です。Type-C出力で、交換も容易になりました」

**人出の多い花火大会でも
安定して中継**

様々な場所から中継を行っているとのことだが、使用感はどういったものなのか。高田氏は次のように語る。

「実際に導入してみて、中継中に回線が乱れることはほとんどありません。今年の8月にレオマリゾートで開催された花火大会(2～3千人の人出)で、Zao-Xを使って中継したときも、特に途切れませんでした。何万人も集まる場所だと、また違ってくのかもかもしれませんね(※)」

(※)大勢の人が集まる大規模イベントでは、輻輳状態(回線にアクセスが集中する状態)が発生し、通信速度の低下につながる懸念がある。対策としては、簡易基地局が用意されることが多い。

**今後も地域の皆様にとって
魅力的な番組を目指して。
Zao-Xが大きな役割**

今後、中讃テレビが目指す姿について、高田氏は次のように結んだ。

「当社としては、ケーブルテレビは地域の人々にとって魅力ある存在でなければならないと思います。他では見られない、ローカルだからできることが何より大切であり、地域発信の着眼点、想像力、面白さ、奥深さをより充実させていくことで、“見てもらえる番組・見たくなる番組”を作り続けていきたいと考えています。そのためには生中継が欠かせませんし、Zao-Xが果たす役割は大きいと思います」

※掲載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。※インタビューの内容は取材当時(2025年11月)のものです。

販売に関する問い合わせ

FOR.A®

株式会社朋栄(販売代理店) <https://www.for-a.co.jp/>
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿3-8-1
Tel:03-3446-3121(代表)

Zao-Xに関する問い合わせ

Soliton®

株式会社ソリトンシステムズ <https://www.soliton.co.jp/>
映像コミュニケーション事業部 営業部
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-4-3
Mail:stc-sales@soliton.co.jp